

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M232W304	災害看護論 (Disaster nursing)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	3	後	木・ 2, 3, 4	末弘 理恵・原田 千鶴・大野夏稀・佐藤昂太郎・ 看護部 (災害看護を担当する看護師) 内線 : 5053 E-mail : suehiro@

【授業の概要・到達目標】

災害看護とは、人的・物的に制限された災害現場での活動であり、創造的に看護実践を展開する能力が必要とされる。本科目は、災害直後から支援できる看護の基礎知識についての理解をめざし、被災者や救済者また自身の災害発生直後から守る援助の考え方や方法・技術を学ぶ。災害各期における看護の実際と役割、災害発生時に備える日常の看護のあり方について、病院・訪問看護・行政等の立場の看護職の視点、被災者及び被災地を支援する立場より学習を深める。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 災害の定義、災害時の特徴的な障害、疾病、災害医療及び災害看護の基本的な知識を理解できる。	○						
2. 被災者の生活や健康問題・課題、関連する法律や支援システムを理解できる。				○			
3. 予防対策期、応急対策期、復旧・復興期の各期における看護の実際と役割を理解できる。	○						
4. 被災時におけるトリアージとその重要性を理解し、トリアージ法を習得できる。	○						
5. 被災者および救済者のストレスとその反応、精神的援助の基本を理解できる。		○					
6. 災害発生時に備える日常の看護のあり方を考え、災害看護に関する意識を高めることができる。						○	

【授業の内容】

1	生命を守る①：災害への備え、災害に関する知識（定義、種類、災害医療・看護の原則等）
2	生命を守る②：発災時の医療・看護の実際、災害時のチーム医療
3	生命を守る③：発災時の看護、トリアージの理解とトレーニング・被災者・状況に応じた搬送法
4・5	生活を守る（被災者の生命・生活を守る）：災害・急性期における避難所の実際と看護
6	生命を守る④：病院における発災時・静穏期の対応、
7	こころを守る：被災者・救済者のストレスとその反応、災害時の精神的援助
8	健康と生活：地域における被災者の生活と支援システム、災害に関する制度

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	ミニレポート、課題レポート	・災害の実際や対象をイメージできるよう、事例・動画を活用している。
B：意見の表現・交換	○	発問、グループワーク、課題レポート	
C：応用志向	○	発災時対応・搬送・トリアージ演習	
D：知識の活用・創造	○		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書等を用い、次回の学習内容について予習する。(2-4h)
事後学修	各回の授業終了後にミニレポート（A 4・1枚程度）をまとめ、学習内容を意味づける（11h）。

【教科書】・酒井明子編(2023)：看護学テキストシリーズNiCE 災害看護改訂第4版、南江堂. 978-4-524-23165-2

【参考書】 授業内で紹介する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6
・ミニレポート	40%	○	○	○	○	○	
・期末試験	40%	○	○	○	○	○	
・課題レポート	20%	○	○	○	○	○	○

【注意事項】・受講条件：3年前学期までの必要な修得単位を取得している者

【備考】・授業内容の順序は、変更の可能性がある。授業開始時、シラバスを配布する。

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	末弘 理恵（看護師）、原田 千鶴（看護師）、大野夏稀（看護師）、佐藤昂太郎（看護師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○	
教員以外の指導に関わる実務経験者	小泉尚子（看護師）、附属病院の看護師	
実務経験をいかした教育内容	実際の災害現場における活動経験を通して、発災時の状況および看護職の役割について伝え、学生が災害看護の意義と役割を考えられるよう、講義を行う。	
授業形態	面接授業	